CTF の魅力を探る

☀ CTF とは?

- Capture The Flagの略で、セキュリティ技術を競い合うエキサイティングな競技
- 仮想環境で行われる "旗取りゲーム" で、特定の文字列(フラグ)を発見してポイントを獲得
- 個人またはチームで参加可能で、攻撃と防御の両方を学べる絶好の機会

主な形式

- Jeopardy 形式:カテゴリー別の問題を解き、難易度に応じたポイントを獲得
 - Web セキュリティ、フォレンジックス、暗号理論、リバースエンジニアリング、バイナリ 解析など多彩なカテゴリー
- Attack & Defense 形式:リアルタイムの攻防戦で、自身のサーバーを防御しつつ他チームを攻撃
 - チームワークと戦略性が求められる

なぜ CTF に参加するのか?

- スキルの向上
 - 現場で役立つセキュリティ知識と技術を習得
 - 問題解決能力の強化と論理的思考の養成
- 楽しさと挑戦
 - 難問を解く達成感と新たな発見
 - ゲーム感覚での学習でクリエイティビティを高める
- コミュニティとのつながり
 - 同じ志を持つ仲間とのネットワーキング
 - チームワークの醍醐味を経験

学べるスキル

- リバースエンジニアリング
 - バイナリ解析やアセンブリの理解
- エクスプロイト開発
 - 脆弱性の発見とセキュリティ対策の考察
- 暗号学
 - 暗号解読と暗号アルゴリズムの理解

- フォレンジックス
 - データ復元や痕跡調査の技術
- ウェブセキュリティ
 - XSS、SQL インジェクション対策、セッション管理など

簡単な CTF のサンプル問題

初心者向けのシンプルな問題で CTF を体験してみましょう!

問題 1: 基本的な暗号解読

説明:

以下の暗号文を解読し、フラッグ形式 $flag{...}$ で答えを提出してください。

U2VjdXJpdHlJc1Bvd2Vy

ヒント:

• この暗号文は Base64 エンコードされています。

キーワード:

• Base64 デコード

問題 1: 解説

Base64 デコードすると SecurityIsPower が得られます。

よって、フラグは flag{SecurityIsPower} となります。

オンラインツールや以下のコマンドで解けま す:

echo "U2VjdXJpdHlJc1Bvd2Vy" | base64 -d



問題 2: 暗号学の基礎

説明:

以下の暗号文を解読し、フラッグ形式 $flag{...}$ で答えを提出してください。

52 65 76 65 72 73 65 20 45 6e 67 69 6e 65 65 72 69 6e 67

ヒント:

• 16 進数(Hex)エンコードされています。ASCII 文字に変換してみましょう。

キーワード:

• 16 進数 文字 変換

問題 2: 解説

16 進数の各バイトを ASCII 文字に変換すると Reverse Engineering が得られます。 よって、フラグは flag{ReverseEngineering} となります。

以下のようなツールを使って解くことができます:

Python の場合

bytes.fromhex("52 65 76 65 72 73 65 20 45 6e 67 69 6e 65 65 72 69 6e 67").decode()

Dencode の場合



始めるには?

- オンラインリソースを活用
 - CTF Time:世界中の CTF 情報が集約
 - CpawCTF:初心者に優しい問題が多数(日本語)
 - OverTheWire:サーバーとセキュリティの基礎を学習
 - TryHackMeやHack The Box:仮想環境でのハッキング演習
- 大会への参加
 - KOSEN セキュリティコンテスト 2024(Jeopardy 形式、高専機構主催)
 - TRICON4S 学生向け CTF(Jeopardy 形式、茨城県警主催)

♀ まとめ

- CTF は学びと成長の場
 - 多岐にわたる技術分野を網羅し、実践的なスキルを身につける
- 楽しみながらスキルアップ
 - ゲーム感覚でセキュリティを学び、達成感を得られる
- 今すぐ始めよう!
 - 最初の一歩を踏み出して、サイバーセキュリティの世界へ飛び込もう!

ご清聴ありがとうございました

質問はありますか?

特別問題: リバースエンジニアリング

説明:

以下のバイナリファイルを解析し、フラグ形式 flag{...} で答えを提出してください。

ダウンロードリンク

ヒント:

• strings コマンドと grep コマンドを使ってバイナリ内の文字列を確認してみましょう。 フラグは flag{...}という形で隠されています

特別問題: 解説

バイナリファイル内の文字列を検索すること で、フラグを見つけることができます。

コマンド実行:

strings DecodeBinary | grep flag

このコマンドにより flag{NEO_wakuwaku_club} が 得られます。

これは、バイナリ解析の基本的なテクニックの一つで、実際の CTF でもよく使用される手法です。

